

公民館だより

平成 25 年（2013 年）11 月 20 日

No.140
公 民 館 だ よ り
編集委員会
日野市中央公民館
〒191-0011
日野市日野本町7-5-23
電話 042(581)2580
FAX 042(581)2110
E-mail pubhall@city.hino.lg.jp

点字「公民館だより」は、グループ「あいの会」の協力でできています。市立つばさ・東京光の家・中央図書館・高橋図書館・中央公民館および同高橋台分室にあります。お問い合わせで目の不自由な方にご紹介ください。

ムロクカルの仲間たち

朗読の会 日野にじの会

指導者の長谷川さんのかけ声で、入念な準備体操と发声練習が始まりました。長谷川さんは役者さん。演技の勉強のため 2005 年に朗読の講習を受け、終了後、指導者養成コースに入り、2008 年より指導員として活動し、2011 年からこの会の専属となりました。指導にあたっては“その人のもつ声の特徴やキャラクターを引き出す事”や“ドラマチックに読む事”などを心がけています。

30 分ほどたつと『日本語の发声レッスン』をテキストに、今回は力行・サ行の聴いているだけで舌をかみそくな言葉の操り返し、それが終わると 6 人全員で 3 対 3 に分かれ、向かい合って早口言葉のかけ合いの練習です。

「日野にじの会」は 1994 年 7 月、60 歳以上の方を対象に発足しました。

この会の代表者でもある今井さんは“本当は読むことより聴く

ほうが好きなんですよ”と。ラジオの朗読の時間によく聴いているそうです。

江川さんも同じようにラジオを聴いて育った、空想好きな女の子だったとの事。

中里さんは、それでやっていた趣味の会がなくなり、新しい趣味をさがして参加したのが始まりだそうです。

福島出身の原田さんは、“アクセントを直すのが大変、遅々とした歩みですが、今自分が読みたい本を模索しています”との事。

最年長の卜部さんは、張りのある元気な声で好きな本として山川方夫の『夏の葬列』をあげてくださいました。

朗読会を聴いて入会し、まだ 1 年ほどの平野さんは“本を読むおばさんになりたい”との事。願いがかなうといいですね。雨の日を除いては 2 か月に一回くらい多摩川の河川敷で思いっきり大声を出して練習するそうです。

取り上げる作品は、近代文学をはじめ、時代小説、翻訳もの、エッセイ等々、その他にもいろいろ



な分野から幅広く活用しています。

普段は同じ一つの作品を、それぞれが朗読し先生から講評を受けます。また 1 年に 1・2 回自分の好きな、あるいは読みたい作品を朗読するそうです。

“ああ、こういう読み方もあるのか”とか“私だったらこう読む”などと比較検討ができるし、読書の幅が広がりますとの事。

お話をうかがっていると、皆さん本当に本が好きで、大きな声を出す事は大変気持ちよく、とても楽しいという事がよく伝わってきました。(K)

- ・活動日 毎月第三土曜日
- ・時間 13:30~17:00
- ・月会費 2,000 円
- ・問い合わせ先 公民館職員にお問い合わせください。



中央公民館 大掃除 12 月 14 日に実施します。進んでご参加ください。詳しくは 4 面をご覧ください。 (公民館利用者交流会)

百草八幡神社

44

台風 24 号の影響を受け、暖かく強い南風が吹いた 10 月 9 日午後、我々編集委員は、京王線百草園駅から百草園通りの坂道を徒歩で 12 ~ 3 分上った所にある百草八幡神社の境内で、百草在住の野村武男さんにお会いし、百草八幡神社についての話を伺うことができました。

八幡神社創建の年代は不明だ

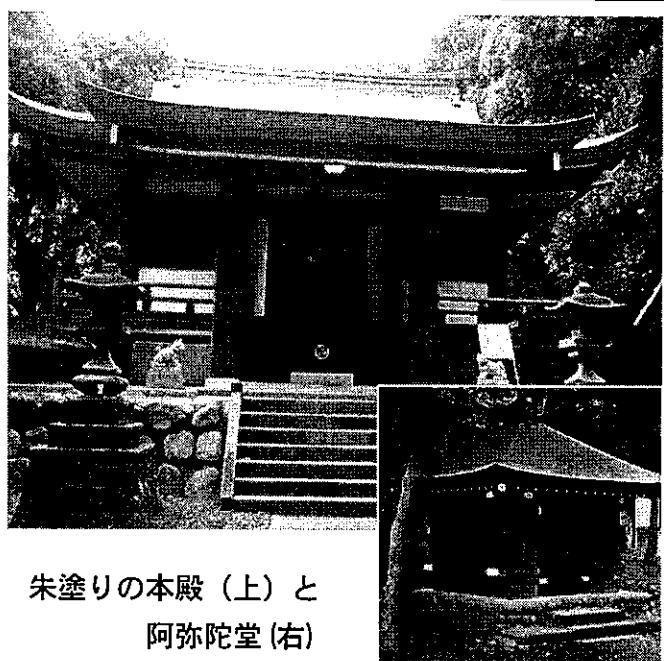
が、当地は天平年間に真慈悲寺が建立されたという地で、社宝の石造狛犬に天平の文字があるので古い社で、源頼義が康平 5 年（1062）再興したと言われているとのことでした。野村さんは、八幡神社を語るには、その前に見ておく場所があると、境内前の道を挟んで向かい側の山にある慈岳山松連寺墓地に案内してくれました。そこには百草八幡の造営に力を注いだ小田原城主大久保忠増の正室寿昌院や智光院等の墓塔が立っていました。

百草八幡神社は、急な石段を上了った丘の上に朱塗りの本殿、その右には、国の重要文化財指定の銅造阿弥陀如来座像が安置されている阿弥陀堂があり、年に一度 9 月の祭礼の日に公開されています。

す（今年は 9 月 15 日（日）祭礼に合わせて、秘仏公開「幻の真寺悲寺を追って」が開催されました）。

境内には日野市の天然記念物に指定されているスタジイの大木がうっそうと茂り、その威容を誇っているかのようでした。

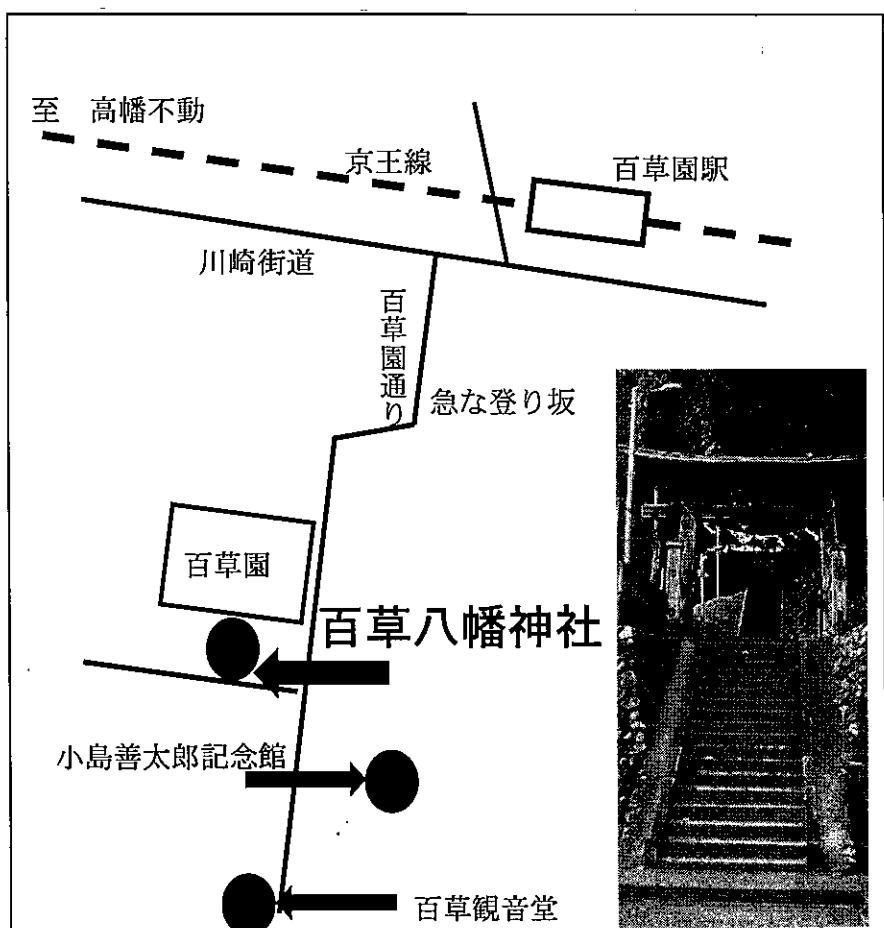
また近くには八幡神社から百草園通りの坂道を少し下った左側に、前号（139 号）の日野の風景で紹介した「小島善太郎記念館」が、さらに少し下った右側に平安時代から江戸時代にかけて



朱塗りの本殿（上）と
阿弥陀堂（右）

の 4 体の仏像と 2 体の僧形像が安置されている百草観音堂があります。

百草園へのお出かけの際や、七生丘陵散策の際はぜひ立ち寄ってみてください。（U）



改めて紹介します 公民館はこちらです

中央公民館が日野本町の地に開館したのが昭和 41 年 7 月のことです。早いもので 47 年が経ちました。また、高幡台分室の開設は平成 16 年 4 月ですから、こちらもまもなく 10 年になります。長い年月は経っていますが、いまでも「公民館ってどこですか?」という問い合わせが入ります。

公民館だより今号では、公民館の概要をあらためてお知らせします。(中央公民館)

公民館では、さまざまな主催事業を行うとともに、多くの自主サークルが活発な活動を続けています。自主サークルの利用について、詳しくは中央公民館・同分室へお問い合わせください。

中央公民館

中央公民館は、日野本町 7 丁目の日野一中南側の一角に中央福祉センター、ひの児童館と並ぶ 2 階建ての建物です。

1 階には実習室(水場あり)、半地下のホール(電子ピアノ)、2 階には講座室 A・B(つなげても使えます)、視聴覚室、小会議室、調理実習室(調理用具、ガス台、水場)と別棟の保育室(おもちゃ)があり、利用目的に合わせて使うことができます。また、ガス陶芸窯もあります。



中央公民館

日野本町 7-5-23 TEL 581-7580

中央公民館高幡台分室

高幡台分室は、高幡台団地の中、教育センター(旧高幡台小学校)にあります。

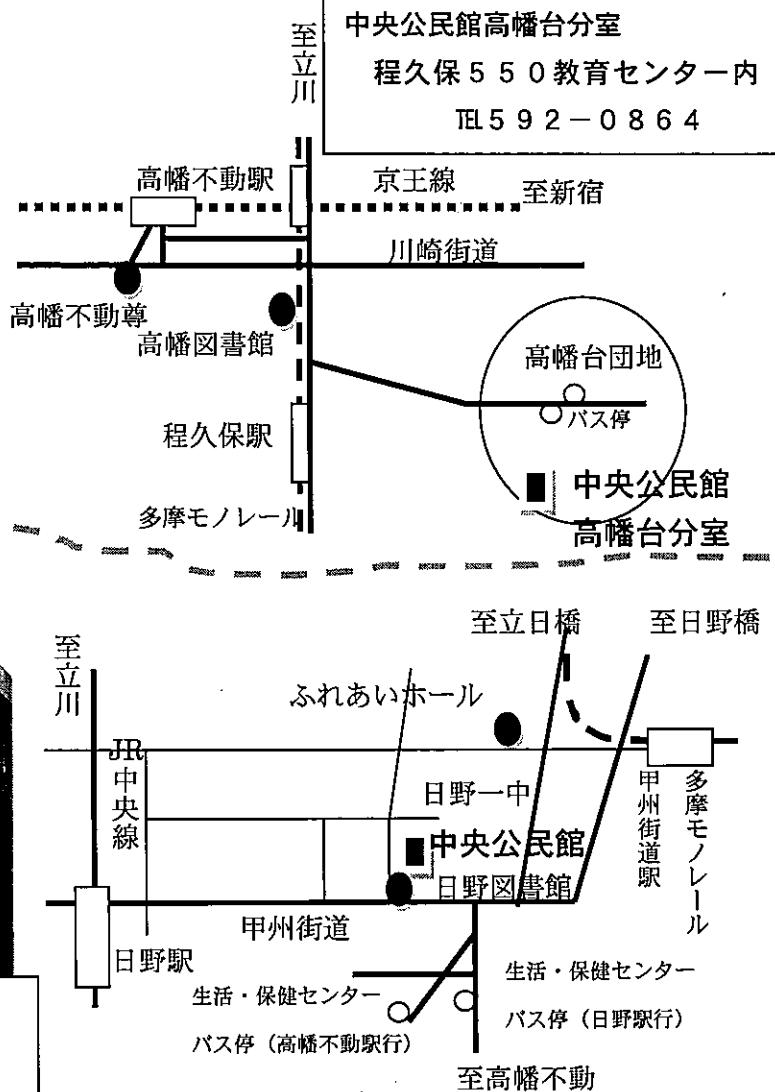
1 階には実習室(調理用具、ガス台、水場)、講座室 1、講座室 2(電気陶芸窯)、2 階には講座室 3(電子ピアノ)、同 4~6 があります。小学校の建物をそのまま使用していますので、教室そ

のものの味わいが残り、郷愁を誘います。



中央公民館高幡台分室

程久保 550 教育センター内
TEL 592-0864



来年2月から変わります 部屋の申込方法

インターネットを利用した電子申請となります

来年 2 月（4 月使用分）から公民館の部屋の申込み方法が大きく変わり、インターネットを利用した「電子申請」となります。

新たに「団体登録」を

電子申請を行うために、公民館を利用するサークルには、団体登録をしていただき、ID とパスワードを発行します。

申込みの流れは

4 月に公民館を利用したい場合	
2 月 1 日 ▼	【申込受付】パソコン・携帯電話（スマートフォン）を使用して、申込み手続きをしてください。
2 月 7 日	【抽選・確認・確定】システムによる抽選処理後、パソコンなどで抽選結果を確認し、希望した部屋が取れた場合は必ず確定の手続きをしてください。確定しないと、申込みが無効となります。
2 月 8 日 ▼	【空き部屋の予約】抽選後、空いている部屋は先着順で利用申込みが可能です。
2 月 17 日	
2 月 18 日 ▼ 使用日の前日まで	

これからのスケジュール

- 12 月 1 日 団体登録申請の受付を公民館窓口で始めます。
- 来年 1 月以降 申請に必要な ID とパスワードを発行します。
説明会を行います
新たなシステム稼働に伴い、説明会（操作講習会）を開催する予定です。

また、申し込み用のパソコンは中央公民館および高幡台分室の窓口にも用意します。

詳しくは、事務室までお問い合わせください。

(中央公民館)



▲予約システムの最初の画面（イメージ）

公民館評価まとまる

平成 24 年度公民館事業について、公民館運営審議会の皆さんにご意見をいただいた公民館評価がまとまりました。公民館・同ホームページ、図書館でご覧いただけます。（中央公民館）

あとがき

◆編集委員で各取材場所に出向いて取材をさせて頂いていますが、いつも新しい場所や一生懸命の人達をしてとてもやり甲斐がある仕事だと感じています◆今回の百草八幡神社にうかがい、日野市の歴史に触れた思いをし、日野にじの会では、長谷川先生や受講者の頑張っている姿が印象的でした◆これからも、頑張って読者の皆さんにお伝えしたいと思っています。（O）

中央公民館：電話 042-581-7580 ファクス 042-581-2110

中央公民館高幡台分室：電話 042-592-0864 ファクス 042-594-1915

メール（中央・分室共通）は、pubhall@city.hino.lg.jp へ。

公民館のホームページは <http://kouminkan-city-hino-tokyo.jp/> です。